ゴミをなくしたい

大好きな私たちのまちを
盛り上げたい

ちがさき・さむかわ
こどもファンド

学校や学年のわくを超えた
交流をしてみたい

勉強や部活以外にも
チャレンジしてみたい

［第4回］2025 ちがさき・さむかわこどもファンド

「私たちのまち、こうしたらもっとよくなるのにな…」
と思ったことはありませんか？
そのアイデアをアイデアのままにせず
カタチにしてみませんか？

"こどもファンド"が目指すもの

- こどもたちが自分たちで考えて動き、未来を創る自分のちからに気づく
- 他の人と協力してまちをよくしていく楽しさとワクワク感を知る
- 将来のまちを支える人になる

［主催］認定特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき　［後援］茅ヶ崎市・茅ヶ崎市教育委員会・寒川町・寒川町教育委員会

活動グループ

［募集中］

5/31(土)まで！

まちの未来をつくる君のアイデア こどもファンドでカタチにしよう

「私たちのまち、こうしたらもっとよくなるのにな…」と思ったことはありませんか？「まちをよくしたい！」「おもしろいまちにしたい！」と願う小学3年生～18歳のみなさんから、まちの誰かが喜んでくれるような活動を募集します！

1. 説明会 2025年4・5月
ファンドの仕組みや事例を詳しく知ろう

2. 応募 5月31日(土)まで
小学3年生～18歳の3人以上でグループで応募します

3. 公開審査会 7月13日(日)
どんな活動をしたいのかプレゼンテーションをします

4. 活動期間 7月～1月
アドバイザーが活動をサポートします

5. 活動発表会 2026年3月
活動発表会で成果を発表

2022年から始まったこどもファンドの活動はすでに24件にもなります。まちの未来をつくるために必要なのはみなさんのアイディアとチャレンジする心です。ぜひ一緒に活動しませんか！？

活動テーマは無限大!!

環境・防災・人権・まちづくり・音楽などなど

香川商店街クリーン活動

キッズだがし店

バイバイプラスチック

ゴミ拾い

廃油石けんづくりの実験

参加者の声

いろんなチームがあって自分が思いつかないことがあった。この活動をいろんな人たちにも知ってもらいたい。

こどもファンドをやって仲間の大切さと協力の大切さを知れて嬉しかった。

応募資格

- こども（小学3年生～18歳）3人以上のグループ
- 茅ヶ崎市・寒川町に住んでいる・通っている・働いている小学3年生～18歳
- 活動をサポートする19歳以上の大人2人以上が必要
- 兄弟姉妹だけでの応募、学校の授業としての活動は不可

応募締切

2025年5月31日（土）

応募

▲応募しおり

左
応
ダ
所
提

Instagramで最新情報をチェック

@kodofun.chigasamu

こども審査員

［募集中］

5/6(火)まで！

君のサポートがまちの未来をつくる チカラになる。

各グループのプレゼンテーションを聴いて、こども審査員が話し合って決めた「審査の基準」の視点から、応募グループの活動がよりよいものになるよう意見交換します。そして、助成金（お金）を出すかどうかを、こどもの目線で決めます。こども審査員は、まちの未来をつくるために欠かせない存在です。

2024年度は、小学生3名、中学生2名、高校生4名が審査員として活動しました。こどもファンドを通じ、地域や学年を超えて、交流やつながりを広げることができます。

審査のほか、各活動の様子を見学することもできます！

1. 説明会 2025年4・5月
ファンドの仕組みや事例を詳しく知ろう

2. 応募 5月6日(火)まで
小学3年生～18歳が応募

3. 事前学習会 5～6月ごろ
公開審査会に向けた事前学習会

4. 審査 7月13日(日)
公開審査会で活動を審査

5. 活動の様子を共有(任意) 7月～2月
LINE等で情報共有

6. 活動発表会 2026年3月
審査員が賞を贈ります。

参加者の声

大和田みどりさん（中学2年生）

一昨年は活動グループ、去年はこども審査員と2年間こどもファンドに携わってきたので、今年も審査員になってもっとこどもファンドを大きな活動にしたいと思って応募しました。

応募資格

●茅ヶ崎市・寒川町に住んでいる・通っている・働いている
小学3年生～18歳

応募締切

2025年5月6日（火）

/ 方法 /

記のQRコードから
募のしおりを
ウンロードし、
定の方法で
出してください。

第4回 2025 ちがさき・さむかわこどもファンド

どうしてこどもファンドを始めたの？

私たちNPOサポートちがさきは、2002年から茅ヶ崎市民活動サポートセンターの管理運営を行っています。こどもたちが夏休みに行うボランティア活動を紹介する中で、人の役に立つ喜びを知り、自らに誇れるものを育むこどもたちの姿をたくさん見てきました。

コロナ禍で、他者との関りが少なくなり、思いきり自分らしさを出せる場が減少しました。そこで、今を生きるこどもたち一人ひとりの力が発揮できる場をつくりたいと考えました。

2022年8月、早稲田大学教授の卯月盛夫さんから心強い助言をいただき、こどもたちの主体的な活動を応援する仕組み「こどもファンド」の立ち上げを決意しました。

Q だれが応募できるの？

A つぎの全ての条件にあてはまるグループ

- 3年生～18歳のメンバーが3人以上いる
- メンバーが、ひとつの家族（兄弟姉妹）だけではないこと
- 活動をサポートする19歳以上の大人が2人以上いる

Q 助成金（お金）はいくらもらえるの？

A 一つの活動に最大で5万円までです。
助成金を利用できるのは、活動に必要な材料費・文房具代・印刷費・講師へのお礼に対して助成金を利用することができます。
パソコンなどの備品を購入することはできません。

Q 公開審査ってどんなもの？

A みんなの前で、アイデアを発表・提案し、こども審査員は自分の見方で助成（お金をだす）かどうかを決めます。みなさんのアイデアを認めてもらえるかどうか、ここがポイント！

Q どんな活動に助成金（お金）がもらえるの？

A 地域やまちを、もっと楽しく暮らしやすいところにする活動

- 自転車のマナーをみんなで考える
- 地域の人とリサイクルの作品づくりワークショップ
- お客の人にインタビュー！映像づくり　など

お問い合わせ
認定特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき　https://sapochiga-mirai.com
TEL：080-6255-7546　MAIL：sapochiga70@gmail.com

2025年4月発行 第2版